

令和8年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)「成長分野転換枠」〈継続分〉
申請書

令和8年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	神奈川工科大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	神奈川
大学全体の総収容定員	4,592 名 ※令和7年5月1日時点		
学部学科 組織構成	情報学部（情報工学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科、情報システム学科）、健康医療科学部（看護学科、管理栄養学科、臨床工学科）、工学部（機械工学科、電気電子情報工学科、応用化学生物学科）		
事業計画名	神奈川工科大学工学部におけるグリーンデジタル教育推進のための学科設置計画		

2. 事業概要

重要技術領域の新興・基盤技術領域に挙げられているグリーントランスフォーメーション(GX)の実現に向け、**分野を横断した体験型学修で、科学技術の応用思考能力を**培い、**連携して産業や地域の課題解決に積極的に取り組む人材**を育成する総合理工学科(仮)を設置する。

具体的には、文系・理系の枠組みを超えて、**GXを軸にデザイン、AI、先端ロボット、光電融合**などの複数の技術を掛け合わせた**クロスエンジニアリング**を基盤とした教育を実施する。実際に社会で活躍する人材を養成するため、**体験学修の比率が高いカリキュラム編成**を構築し、低学年からロボット等の最新技術アイテムを用いて知的好奇心を喚起する**STEAM教育**、相模川水系のPFAS監視などの**フィールドワーク**などを扱った科目を開講する。3年次には興味・適性に応じた技術分野を選択し、社会貢献を題材とした**企業および地域自治体・コミュニティとの連携**によるプロジェクト科目などを履修し、4年次の卒業研究・卒業プロジェクトを経て**社会課題の解決に積極的に取り組む人材**の輩出を目指す。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和11年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	工学部総合理工学科(仮)					
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	神奈川県厚木市					
入学定員	新設予定					
収容定員	4,592 名					
入学定員の増加数	60 名					
他学部等の入学定員の減少数	60 名					

事業計画名 神奈川工科大学工学部におけるグリーンデジタル教育推進のための学科設置計画					
基本情報					
改組予定年度	令和11年度	設置等組織名	工学部総合理工学科（仮）	入学定員増数（合計数）	60名
所在地	神奈川県厚木市	改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）	入学定員減数（合計数）	60名

＜社会や地域のニーズ・課題＞

社会

・脱炭素化推進の世界的潮流
・デジタルの加速度的進展

地域

・京浜工業地帯の中核として、製造業・技術系企業・研究開発拠点が集中
・電気電子/機械/材料/化学/バイオ/医療機器等、工学基盤の産業分野が展開

・AIによる産業構造変革で消費電力増大
・グリーン/デジタルを含む理数的素養・工学的思考能力の重要性が拡大
・労働需要の変化と産業の担い手不足

・従来職種でも応用力・実装力を備えた実践的工学人材の育成が要求される
・独自の産業構造から、地域内高等教育機関による専門人材養成の役割が重要

＜設置学部等の概要・コンセプト・特徴など＞

従来型の知識積み上げ教育とは異なる「横断基盤＋応用領域」型工学部人材の育成

・従来の理工系志向学生に限定しない教育モデルとして、理数系に不安を持つ学生や入学時点で専門未決定の学生も対象とし、文理融合で理数基盤を段階的に修得させつつ、分野横断で広く工学分野に貢献可能な人材を育成する。
・「分野知識」より「問題解決枠組み」重視（現象理解のための数学、意思決定のための統計、モデル構築のための数理）
・文理横断統合教育（工学 × 社会科学）
・実課題駆動型教育（専門知識よりも「問題構造理解」を重視）
・社会課題・産業課題・研究課題を横断テーマ化（工学的視点への自然な接続）

＜教育内容・育成する人材像＞

分野を横断した体験型学修で、科学技術の応用思考能力を培い、連携して産業や地域の課題解決に積極的に取り組む人材を育成

・文系・理系の枠組みを超えて、GXを軸にデザイン、AI、ロボット、光電融合など複数技術を掛け合わせたクロスエンジニアリング人材
・工学的思考様式（モデル化・最適化・システム思考）を理解する
・データ・情報・数理の基礎素養を有する
・技術と社会・人間を接続できる
・新しい技術に対応でき、工学に貢献可能なジェネラリスト
（想定される社会での活躍例） 技術企画・設計支援／データ活用型専門支援／医工・政策・産業接続／技術コミュニケーション／技術実装 等

＜連携を通じた教育体制の整備＞

地域連携

「KAIT TOWN（学内地域連携・貢献センター）」を拠点とした地域連携・社会貢献PBL授業

企業連携

「学内研究推進機構」を拠点に厚木商工会議所（地元企業）と連携した課題解決PBL授業

大学間連携

協定校/協定機関（55カ国、217機関）と連携

＜多様な入学者の確保＞

・特定成長分野に興味を持つ国内外の学生が幅広く志願できる入試方式を設定
一般選抜／総合型選抜（理工系女子/探究/スポーツ実績/適性評価）／学校推薦型選抜／外国人留学生試験
・教育交流協定締結高等学校（98校）を中心とした高大連携講座を通じたマッチング
・「探究・課題研究ラボ」サイトを活用した教育連携を通じた理系人材の裾野拡大
・JST女子中高生の理系進路選択支援プログラムを通じた理系人材の裾野拡大

